

第 107 回 日商簿記検定試験 1 級 商業簿記・会計学

予想の結果と講評

ネットスクール株式会社

科 目	第 1 予 想	第 2 予 想	第 3 予 想
商業簿記	損益計算書(税効果あり) 的中	貸借対照表	連結財務諸表の作成（在外 子会社の換算・税効果あり）
会 計 学	第 1 問 理論（有価証券） 第 2 問 売価還元法 第 3 問 キャッシュフロー 計算書 的中	第 1 問 理論 第 2 問 ソフトウェア 会計 第 3 問 社債	第1問 理論 （研究開発とソフトウェア） 的中 第 2 問 退職給付会計 第 3 問 資本の表示と 配当可能限度額

講評

【商業簿記】

予想通り、損益計算書からの出題でした。外貨建取引、有価証券の評価(+税効果会計)、減価償却、退職給付会計、自己株式といった論点は、予想問題でも扱っていましたし特に難しかったわけではないのですが、商品売買に関する内容が、かなりヘビーであったため、全体的に難しく感じたのではないかと思います。

商業簿記での合否の鍵は『商品の取得原価 @12 千円』が算定できたか否かと、それ以外の論点で部分点を稼げたか否かの 2 点にあったと思われます。

両方が OK なら 20 点を超えられ、合格がグッと近づいたことと思われますし、両方が NO なら 10 点未満になってしまったことと思われます。

【会計学】

第 1 問の理論問題は基本的なものが多く、合格への基礎点として 4 問中 3 問(予想配点 6 点分)は合わせておかなければならない問題でした。

第 2 問の合併会計は出題予想からは外れていましたが、増加資本金の計算はオーソドックスな出題だったので正解できたと思われます。ただ営業権の計算は、問題文に通常の方法とは異なる方法が指示されていたので、合併会計に自信のある人ほど解答しづらかったのではないかと思います。

第 3 問のキャッシュ・フロー計算書は“ どの区分に何が入るのか ” も含めて作成そのものが要求されたため、結構厳しかったのではないかと思います。項目の少ない「投資活動」や「財務活動」の区分に記載される項目をマスターしていると有利に働いたことと思われます。なお、「現金同等物」の定義では、『容易に換金可能』と『僅少なリスク』というキーワードが書けていれば大丈夫でしょう。

第 107 回 日商簿記検定試験 1 級 工業簿記・原価計算
予想の結果と講評

ネットスクール株式会社

科 目	第 1 予 想	第 2 予 想	第 3 予 想
工業簿記	予算編成	直接原価計算と 全部原価計算 (固定費調整) 的中	部門別原価計算 的中
原価計算	投資案の評価 ～ 設備投資 ～	予算実績差異分析	最適セールスミックス 受注の可否

総評

今回は工業簿記・第 2 予想と第 3 予想が工業簿記、原価計算どちらにも的中しました。一部に逆算推定や言葉の解釈にやや難しいところも見受けられましたが、全体的には標準的なレベルの問題であったと思われます。

講評

< 工業簿記 >

実際工程別総合原価計算からの出題でした。難易度としては標準レベルであったと思われます。本問のポイントは

第 2 工程の計算が逆算で求めなければならないことに気がついたかどうか。

資料(9)の売上原価勘定の期末残高 155,000,000 円の中に加工費配賦差異が含まれていることに気がついたかどうか。

問題中の金額の単位は「円」、答案用紙の金額の単位は「千円」で異なっている。

の 3 点です。この 3 点に気がつけば満点の 25 点も十分可能な問題です。

< 原価計算 >

部門別計算からの出題でした。難易度としては標準レベルであったと思われます。

本問のポイントは

補助部門での固定費は、製造部門に配賦されない。

固定的な動力消費、固定的な保全作業時間

の 2 点です。この 2 点の意味がしっかりと把握できるか否かで、得点の伸びに影響が出るでしょう。

問 5 の最小自乗法は問 1 ～ 問 4 からは独立しているため、公式の作り方を覚えていれば楽ですが、この問については出来なかったとしてもあまり合否に影響はないでしょう。